

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 5月23日更新

事務事業名		文化祭参画事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連						
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会事務局	課長名	上原 哲也		
	施策	21	生涯学習の推進				所属課	生涯学習課	担当者名	村上 優太		
	基本事業	68	生涯学習団体の育成				所属班	生涯学習班	(内線)	1514		
予算科目		会計一般	款10	項5	目6	事業連番10799	法令根拠				成果優先度評価結果	⑫
											コスト削減優先度評価結果	⑥
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	11月10日～11日に開催した、文化協会主催による文化祭の啓発チラシの作成、配布及び展示会場の設営を行った。旧合志町では、文化協会の活動及び共催事業としチラシの作成・会場設営を行い、生涯学習行事も連携して行っていた。(旧西合志町では、会場設営協力のみ)合併後、旧合志町の手法を継続する方法をとった。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	選定した業者に業務委託し、会場設営を行う。
【主な予算費目】	13 委託料
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動)24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
文化フェスティバルの開催支援(啓発チラシの作成及び配布・展示会場の設営)を行なった。		前年度同様に文化祭の展示会場の設営委託と啓発チラシの作成を行なう。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ア:開催数	回		
⇒イ:			
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)	
文化協会(会員)及び市民	⇒ア:市民	人	
	⇒イ:		
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)	
会員の活動成果の場とし、市民に文化芸術活動に興味を持ってもらう。	⇒ア:来場した人数	人	
	⇒イ:成果を発表した団体数	団体	
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
市の文化振興を目的とし開催するため、参加団体と来場者を指標として設定した。目標値については、各団体の構成員の高齢化等を考慮し、現状維持をすることを目標とする。			全体計画
			～年度
			0

(2)各指標・総事業費の推移											
		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込	
① 活動指標		ア回	1	1	1	1	1	1	1	1	
		イ									
② 対象指標		ア人	55,828	56,638	56,500	57,501	57,000	57,500	58,000	58,500	
		イ									
③ 成果指標		ア人	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
		イ団体	133	118	130	113	130	130	130	0	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	1,354	1,364	1,560	1,338	1,560	1,725	1,725	
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	1,354	1,364	1,560	1,338	1,560	1,725	1,725	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	7	7	4	7	7	7	0
		延べ業務時間	時間	150	450	450	120	450	450	450	0
	(B) 人件費計		千円	618	1,817	1,817	488	1,817	1,817	1,817	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,972	3,181	3,377	1,826	3,377	3,542	3,542	0	

事務事業名	文化祭参画事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	---------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した 文化協会会員の高齢化などにより加入団体が減少しているため。	☒ 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 会員の募集し加入団体を増やす予定。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 文化協会のPRし加入団体を増やす。	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似するものが無く、他目的な行事と組み合わせると、規模が増大し、本来の目的が達成し難い。	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 会場設営費が主な経費であるが、市の備品も併用し会員による設置も行なっている。削減余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 文化協会の組織再編等により、自立的活動が確立すれば、業務時間の軽減は可能となる。	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 文化協会への加入は、自由に出来ることや、全市民を対象に実施している。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 当日の運営や、加盟団体との連絡調整は協会で行なわれており妥当である。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

21年度から文化協会の事務局長が新たに設置され、市との連絡調整等がスムーズに行なわれるようになった。会員が減少傾向にあったが、昨年度の協会独自の取り組みにより多少の会員増が見込めた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可					(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）																									
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）					<table border="1"><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
	低下																													

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策